

総合分析

試験区分	一般（後期）		
制限時間	50分	大問数	全 4 問

合格に要する能力（5段階）



合格に要する能力（5段階）

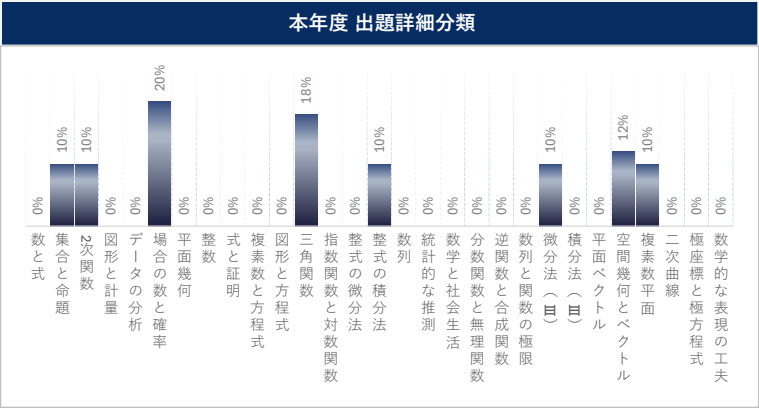
計算力	3.0	高度な計算をやり遂げる力
解析力	2.8	問題文を正しく読み取る力
知識力	2.8	解くことに必要な知識の量
初手力	2.7	初手の難しさ
見極力	3.9	解きやすい問題を選択する力

特記事項	特になし
------	------

出題分野	
数学Ⅰ	20%
数学A	20%
数学Ⅱ	28%
数学B	0%
数学Ⅲ	10%
数学C	22%

本年度 解答形式
マーク 100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	2つの2次関数で囲まれる面積
第 2 問	複素数平面と必要十分
第 3 問	空間ベクトル
第 4 問	確率



特殊問題の有無	記述なし	証明なし
統計なし	数Ⅲあり	長文なし

総合評価

難度	3.1	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	75%
分量	55分	完答に要する時間（制限時間は50分）	やや多い	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策	▶ 使う知識は難しくないが、計算量が多い。面倒でも常に自力で求値しよう。 ▶ 入試問題としてありふれた題材が多い。単純に演習量で十分に対策できる。 ▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。單元ごとに公式を確認しておく。
入試から見る大学が求める学生像	前期試験に引き続き、標準的なレベルの問題であった。 大問 3 はやや計算が煩雑なものの医学部受験をする学生にとっては標準的であろう。 奇をてらった問題はないため、しっかりと基礎が定着しており処理能力の高い学生を求めていると考えられる。